

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 2号)

平成28年10月28日発行

兵庫のみ研究所

この海域西部では前回(10/14)調査同様、小型珪藻の発生量がやや多く窒素が一部で $2\mu\text{g at/L}$ 台の値となっていますが、それ以外の海域では概ね $6\mu\text{g at/L}$ 以上で平年より高く十分量の値を示しています。今後、栄養塩が低下している漁場においても、風波や水温降下に伴う鉛直混合により栄養塩は回復していくものと考えられます。

(水温) 漁場内平均 $22.7^{\circ}\text{C}$  (平年比 $+0.4^{\circ}\text{C}$ 、昨年比 $+1.2^{\circ}\text{C}$ )。 (塩分) 平均 $31.77\text{psu}$ 。前回(31.18)より約 $0.6\text{psu}$ 高い。

(栄養塩、珪藻) 高砂～別府沖の調査地点以西でキートセロスやタラシオシラ等の小型珪藻がやや多く、その海域の一部で窒素が $2\mu\text{g at/L}$ 台と低い値を示した。それ以外の海域では栄養塩は全般に平年以上の値を示している。大型珪藻コシノディスカス(*C. wailesii*)は、今のところほとんど認められない。

(その他) 透明度は林崎沖～明石海峡で $4.0\sim 5.0\text{m}$ 、その他で $1.5\sim 3.0\text{m}$ と前回調査同様この海域全般に、浮遊泥・珪藻やその死がい等の懸濁物質(にごり)が見られた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	24.1	22.7	22.3	21.5
窒素	9.0	7.3	5.3	5.0
リン	0.86	0.68	0.63	0.62

(10/14) (10/29)

### 西播地先

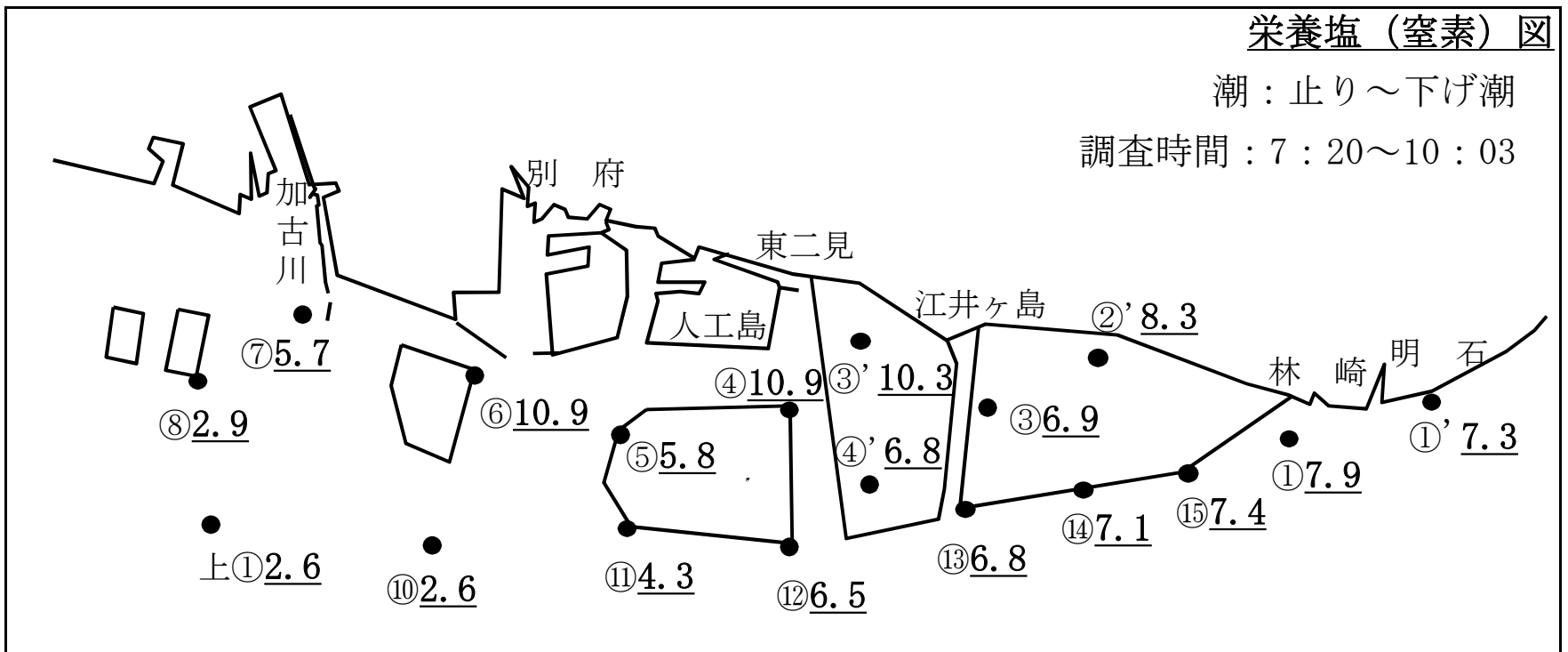
伊保地	水温	$22.5^{\circ}\text{C}$	伊保沖	水温	$22.5^{\circ}\text{C}$
	窒素	3.7		窒素	2.3
	リン	0.52		リン	0.43
白浜地	水温	$22.9^{\circ}\text{C}$	白浜沖	水温	$23.0^{\circ}\text{C}$
	窒素	5.7		窒素	6.0
	リン	0.68		リン	0.70

平成28年10月28日調査

### 栄養塩(窒素) 図

潮：止り～下げ潮

調査時間：7:20～10:03



### 水温図

